

五泉トゲソの会・活動ニュースNO.4 (12月・1月～3月)

1、湧水保全フォーラム全国大会に参加(12月25日)

「湧水保全フォーラム全国大会inひがしくるめ」が、12月17日(金)に東京都東久留米市で開催されました。この湧水保全フォーラムは2年ごとに開かれており、今回は五泉市で開催されています。当日は、五泉から高橋理事長を含め5名が車で参加しました。

東京近郊の会員を含め、全員で8名のメンバーが参加いたしました。

トゲソの会では、展示ブースで当会の活動や総合学習で支援した五泉南小学校作成の「大型環境カルタ」を展示しました。また、当会が取り組んでいる事業活動や販売している「湧水恵みセット」(湧水のペットボトル・里芋・しそ南蛮・とげそ米)を紹介しました。

五泉から持参した大きな里芋は「立派な里芋ですね」と注目されました。五泉市からは前回開催地主催者として伊藤市長が出席され、トゲソの展示を見て湧水保全の大切さを認識しておられました。

また、各ポスター展示ブースには秋篠宮殿下がお回りになり、活動パネルや「湧水恵みセット」に興味深そうにご覧になりました。

翌日は、東久留米市の湧水が流れる「落合川」を歩き、様々な川の活動をしている団体の様子や湧水の状況などについて見学させていただきました。



▲ 学習成果を発表する児童(左) 湧水の川、落合川(中央) 落合川の川塾(右)

2、五泉フードブランド・加工品グループ会議(2月9日・3月4日)

【1回目2月9日】 新潟県新潟振興事務所と五泉市が支援する「五泉フードブランド戦略推進事業」が2月9日(水)に開催されました。この会議は、市内の加工品会社及びグループが結集して、「五泉のブランド加工品」を造ろうと集まったものです。



【2010年版・トゲソの会ニュース4号】

酒造会社さん2軒、「南蛮みそ」の会社さん、たまご屋さん、特産品販売のグループなど6社が集まり、皆さんの商品を持ち寄り「これから、どう五泉のブランドを考えていくか」について話し合いを進めました。当会も新たな商品を増やしていくことを望んでいることから、2人が参加してグループに入れていただきました。



▲皆さん持ち寄りの五泉の品物

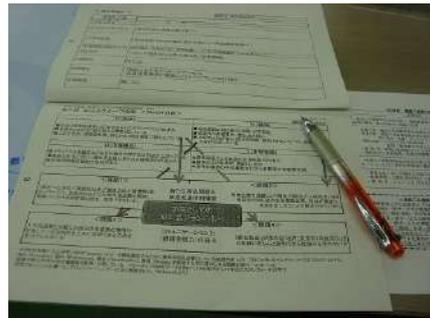
【2回目3月4日】

3月4日に、続いて2回目となる五泉フードブランド・加工品グループ会議が開かれました。当会からは、2人が出席しました。

事前のアンケートに従って、各団体・企業から「ブランドの定義」「ブランド化の手法」「五泉には何が必要か」を意見発表しました。

ブランドという定義も千差万別で「信用と知名度である」「メッセージと物語があるもの」「認知尺度である」「責任を意味する」といった意見がでて、それだけでもまとめにくいものであることがわかりました。

討議の過程で、アドバイザーの三輪宏子さんから、このグループで提供できる商品の「SWOT分析」があり、S(強み)、O(市場提供)、W(弱み)、T(市場脅威)の座標が示されました。方向としては「花とアロニア」「五泉の食卓」をコンセプトとして、さらに検討を進めていくこととなりました。



▲SWOT分析をしました。

※三輪宏子さんは仙台市在住で、この度の東北関東大震災で被災されたようです。お見舞い申し上げます。

3、坂田家が国の有形登録文化財に指定される。(1月26日)

五泉市で伝達式が開かれ、プレートなどが受け渡されました。(2月18日)

「坂田家」の登録については、すでに10月に文化庁の調査官が事前視察に来られたことをニュースでお伝えしています。その後、12月10日に文化財審議会が開かれ、国に対して「登録妥当」との答申が出されました。

その結果、1月26日、正式に官報に告示がされ、坂田家が「国の有形文化財登録」に認定されました。坂田家は幕末に庄屋を務めた旧家です。江戸末期の遺構を残した主屋を含め土蔵など5棟が登録されました。

また、その指定にともない「登録証書」と「登録プレート」が五泉市にとどき、伝達式が五泉市でありました。五泉市長から坂田さんへプレートなどが渡されました。



▲五泉市長より登録証書伝達



▲登録有形文化財プレート



▲指定となった「坂田家」

4、「どばしっこ清水」が県の名水に指定される。(2月28日)

トゲソの里の「どばしっこ清水」が、このたび新潟県の名水指定を受けました。

新潟県の名水指定は、全県で55箇所あります。五泉市ではこれまで「0」でした。泉の市としては残念な状況でしたが、この度「どばしっこ清水」と「胴腹清水」(菅名岳中腹)の2箇所が指定され、嬉しい結果となりました。



「2004年に湧水小屋を建設」

この清水は高台にある土堀から四ッ屋新の集落にかけて、阿賀野川側に向かって落ち込む崖っぷちの「段丘崖(だんきゅうがい)」という地形に自噴しています。このような、清水は「儘下清水(まましたしみず)」とも言われています。

トゲソの会では、2004年に民間の助成金を受け、集落の皆さんとワークショップで建物のデザイン、名前を決めて湧水小屋を建てました。「どばしっこ清水」の名前は、昔、この場所に清水の流れる小川があり、そこに名もなき「小さな土橋(どばし)」が架かっていたことに由来しています。昨年8月に検査した13項目の水質調査で、いずれも水道法水質基準に合格しています。水質はPH値5.9、カルシウム・マグネシウム等(硬度)30mg/lで軟水でした。



▲昔の井戸湧水跡。

▲ワークショップでのデザイン発表

▲湧水小屋の完成式、菓子撒き。

5、ふるさと雇用「地域ブランド商品拡大事業」のホームページを開設しました。

五泉トゲソの会では、ふるさと雇用「地域ブランド商品拡大事業」の助成を受け、会が販売する「トゲソ村・湧水の里市場」を開設しました。随時、「トゲ男・トゲ子のブログ」も公開しております。湧水の恵みセットの販売は、2月末で終了しましたがトゲソの会ホームページとともにご覧いただけますようご案内いたします。



★事業部門ートゲソ村湧水の里市場

<http://www.togeso.com/>

★トゲソの会ホームページ

<http://www.geocities.jp/gosentogeso/index.htm>

■NPO法人五泉トゲソの会 事務所兼加工所 担当 中村 浅井

住所:〒959-1632 五泉市中川新2306-6 電話:0250-47-4439 FAX :0250-47-4440

Mail:事務局専用 gosen@togeso.com 事務所 togeso@jewel.ocn.ne.jp